過眠症をより正確に診断するための新しい検査指標を探る研究

１．研究の対象

2013 年～2018 年に大阪大学医学部附属病院睡眠医療センター（神経科精神科）で終夜睡眠ポリグラフ検査（PSG）と睡眠潜時反復測定検査（MSLT）を行った方

２．研究目的・方法

ナルコレプシーは日中の過度の眠気とカタプレキシーを中核症状とする中枢性過眠症であり、病態基盤はオレキシン神経の伝達障害による覚醒・睡眠状態の不安定性にあります．反復睡眠潜時測定検査（MSLT）によって検出される入眠時 REM 睡眠期（SOREMP）はナルコレプシーの病態を反映すると考えられていますが，MSLT の実施には時間とコストがかかるため一部の専門施設に限られます．さらに，睡眠不足による偽陽性の問題があります。以上のことから、他の多くの睡眠関連疾患の診断・除外に用いられ、MSLT よりはるかに普及している PSG で得られる指標による過眠症診断が求められています。

本研究では、PSG と MSLT のデータに対し Sleep Stage Sequence 解析という手法を用いて再解析を行い、診断精度を上げる新たな指標を探ります。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～２０２７年３月３１日

利用又は提供を開始する予定日：２０２５年９月３０日

３．研究に用いる試料・情報の種類

問診票、病歴、PSG データ、MSLT データ

４．外部への試料・情報の提供

外部へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当機関研究責任者が保管・管理します。

５．研究組織

（利用する者の範囲）

研究代表機関：大阪大学医学部附属病院睡眠医療センター/神経科精神科　間宮由真

共同研究機関：大阪大学大学院歯学研究科　加藤隆史

共同研究機関：京谷クリニック　京谷京子

６．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪大学医学部附属病院睡眠医療センター(神経科精神科) 研究事務局
担当　眞下緑（特任研究員）
住所　565-0871　大阪府吹田市山田丘 2 番 15 号
電話　06-6879-3051

研究責任者：大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室　間宮由真
研究代表者：大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室　間宮由真